

作成日 20 年 月 日
(最終更新日 20 年 月 日)

受付番号： I2025-377

課題名： 尿路結石治療における不良転帰を予測する機械学習モデルの構築

1. 研究の対象

2020 年 1 月 1 日から 2026 年 7 月 1 日（研究実施許可日）までの期間に、東京科学大学泌尿器科で尿路結石症と診断もしくは尿路結石症に対し治療を受けられた方

2. 研究期間

2026 年 7 月 1 日（研究実施許可日）～2031 年 3 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日： 2026 年 8 月 1 日

提供開始予定日： 該当なし

4. 研究目的

今回の研究では尿路結石症と診断され、当院にて治療または経過観察された患者さんの診療経過を調べ解析することを目的としています。

5. 研究方法

この研究は、当院において 2020 年 1 月 1 日から 2031 年 2 月 28 日までの期間に、尿路結石症と診断され治療または経過観察された患者を研究対象者とした観察研究です。

研究対象者の診療録から、血液・尿検査データや画像データ（CT/レントゲン/超音波/内視鏡所見など）、臨床情報（年齢・性別・身体測定値・家族歴・既往歴・尿検査・血液検査・培養検査・画像診断・手術所見を含めた治療内容・治療経過・結石分析結果など）を集計します。集計時点からすべてのデータは個人が特定できないように変換します。集計したデータはそれぞれの疾患に対して適切な手法で解析し、機械学習・AI 技術を用いた尿路結石治療における不良転帰を予測するモデルの構築を行います。この研究のために新たなデータの採取や追加の診療行為は行いません。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、内服歴、治療歴、生理検査、血液・尿検査データ、
画像検査データ 等

試料：血液、尿、結石

7. 外部への試料・情報の提供

提供の予定はありません。

8. 研究組織

本学単独研究

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

本研究は運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

東京科学大学病院 泌尿器科 小林 正貴

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話：03-5803-5295（ダイヤルン）（平日 9:00- 17:00）

11. 苦情窓口

東京科学大学 研究推進部研究基盤推進課 生命倫理グループ

03-5803-4547（対応可能時間帯：平日9:00～17:00）